

外国語科（英語）調査資料 作成の観点

書名	<div style="font-size: 2em; letter-spacing: 1em;">○○○○ ○○○○</div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発行者名</div>
項目		
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <p>○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解することができるように、どのような工夫がされているか。</p> <p>○聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が身に付くように、どのような工夫がされているか。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりする力を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○単元などの時間のまとまりごとに、五つの領域別の目標と指導内容との関係が明確になるよう、どのような工夫をしているか。</p> <p>○文、文構造及び文法事項について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げており、用語や用法の指導に偏ることのないよう、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○必要となる語彙を言語活動と効果的に関連付けて取り上げられており、実際のコミュニケーションにおいて活用されるよう、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○図書の内容と一体のものとして、視聴覚教材などが相互に適切に関連が図られるよう、どのような工夫が見られるか。</p>	
資 料	<p>○学習効果を高めるため、資料には、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○挿絵、写真等の資料にはどのような工夫が見られるか。</p>	
表記・表現	<p>○字体、記号・符号、用語等の使い方には、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○文字の大きさ・行間等には、どのような工夫が見られるか。</p>	
総 括	<p>（全体的な特徴、その他）※学習者用デジタル教科書について記述する。</p>	

書名 項目	NEW HORIZON English Course	2 東 書
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○各単元は「扉」「Part」「Read and Think」「Unit Activity」で構成されている。各「Part」の「Activity」をスモールステップで積み上げて「Unit Activity」へつなげ、統合的な言語活動として年3回の「Stage Activity」が設定されている。 ○「Read and Think」では3回視点を変えて読む「ラウンドリーディング」で英文を適切かつ効率的に読めるよう工夫されている。また、実生活に即した題材を通して、4技能の習得を図ることができるように「Real Life English」が設定されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○単元の「Preview」で目的や場面、状況を捉え、「Read and Think」では3段階読みで概要や詳細を理解、整理し、「Unit Activity」で表現につなげるよう構成されている。また、「Stage Activity」では、単元の既習事項を活用し、4技能を統合した活動を通して、思考力、判断力、表現力を伸ばすよう構成されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各単元の「Activity」で積み上げた表現を生かして、目的や場面、状況を踏まえた発信活動を行うよう構成されている。「Language Focus」や「デジタル用例辞典」では、言葉への興味・関心を高め、「ダイバーシティメモ」では多様な文化や価値観への気付きを促すなど、生徒の主體的な言語活動を支えるよう工夫されている。 </p> <p> <聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫> ○各「Part」の「Activity」で積み上げた表現を生かし、単元末の「Unit Activity」に向かって、目的や場面、状況を踏まえた系統的な活動ができるようになっている。また、いずれもパフォーマンス評価を行うことができるよう工夫されている。 ○どの「Unit」も音から導入して文字に向かう順序で4技能をバランスよく扱うよう工夫されている。また、小学校の学びを中学校につなげられるように、聞く、話す、読む、書く活動に何度も触れることができるよう工夫されている。 ○言語活動において必要な語彙が「Key Sentences」等に取り上げられている。新出語句を扱う「New Words」において、発信語彙が太字で表記されている。 </p>	
資 料	<p> ○巻頭には、1年間の学習の流れが示され学習の見通しが立てられるよう工夫されている。巻末には、「語順カード」が掲載されており、絵・色・形で分類された単語カードをヒントに文が組み立てられるよう工夫されている。 ○単元ごとに、QRコードが掲載されており、単語やスライド、本文などがスマートフォンなどで再生ができるよう工夫されている。 </p>	
表記 ・ 表現	<p> ○1年生ほぼ全編を通して手書きに近い独自のフォントを使用し、2年生以降は活字体を使用している。1年生は、アクセントは各単語に青色で付記し、発音記号は巻末に掲載している。2、3年生はアクセント、発音記号を青色で併記している。 </p>	
総 括	<p> ○「Activity」を軸として、英語で伝え合う心豊かな体験を積み上げ、自分の言葉で他者とコミュニケーションできる喜びを実感できることに重点を置いている。積極的に世界とつながろうとする心を育てようとする内容となっている。 ○学習者用デジタル教科書では、スピードや再生方法を変えながら音声を聞いたり、マスク機能を活用したりするなど、個別最適な学びに取り組めるよう工夫されている。 </p>	

<p>書名 項目</p>	<p>SUNSHINE SUNSHINE ENGLISH COURSE</p>	<p>9 開隆堂</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○各単元は「とびら」「Scenes」「Tuning in」「Part」「Review and Retell」「Action」で構成されている。マンガ形式で提示された新出表現を、4技能を通して繰り返し学習することで使い方に慣れさせ、学期末の協働学習「Our Project」に繋げるよう構成されている。 ○「Power-Up」では、実生活に即した場面設定で4技能を伸ばせるよう工夫されている。また「Step」では発表のコツに関することや簡単な表現の言い換え、簡単なディスカッションの進め方など英語学習における重要な技能が系統的に扱われている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○単元の「Tuning in」で題材の予備知識を習得し、各「Part」で題材内容について考え、「Review & Retell」で内容を整理し、「Action」で自己表現活動につなげるよう構成されている。また、「Our Project」では、「Program」の既習事項を活用し、4技能を統合した活動を通して、思考力、判断力、表現力を高めるよう構成されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「Our Project」に向けて、スモールステップで基礎・基本の着実な定着を促すよう構成されている。「Our Project」は協働学習を軸としており、対話を通して課題解決に向かう活動が設定されている。単元で十分に扱えない英語表現や異文化情報を深掘りした「Coffee Break」を新設し、生徒の異文化理解を深めるよう工夫されている。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫> ○目的や場面、状況を大切に言語活動ができるようになっている。本文の内容を振り返る「Review & Retell」では、相手意識や目的意識をもった表現活動につながり、また「Action」や「Our Project」など単元末の活動ができるよう工夫されている。 ○「とびら」の目標確認から始まり、「Scenes」で新表現が学習でき、「Tuning in」で題材について考え、まとめにつなげる仕組みになっている。その際に、「Step」で簡単な表現への言い換えなども学習できるよう工夫されている。 ○言語活動において必要な語彙が「Expression Box」「Word Box」等に取り上げられている。新出語句を扱う「New Words」において、発信語彙が太字で表記されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○巻頭には、3年間を通した目標と、1年間の学習の流れが示されており、学習の見通しが立てられるよう工夫されている。巻末には絵や単語がかかれた「アクションカード」が掲載され、ペア学習や会話活動時に使えるよう工夫されている。 ○単元ごとにQRコードが掲載されており、本文の音声や単語、アニメーションをスマートフォンなどで再生ができるよう工夫されている。</p>	
<p>表記 ・ 表現</p>	<p>○1年生前半は小学校と同じ手書き書体、後半は手書きに近い独自のフォントを使用している。2、3年生では一般的な書体を使用している。各学年共通で、アクセントは各単語に赤色で付記し、発音記号は巻末に掲載している。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「Our Project」を軸として、習得した知識・技能を使って自ら考え行動し、目標に向かって自己表現することに重点を置いている。学びに向かう力と豊かな人間性を育て、国際社会に寄与する意識を育てようとする内容となっている。 ○学習者用デジタル教科書では、白黒反転やルビふりなど生徒の多様なニーズへ配慮され、リンク機能を活用し、インターネットのサイトに容易にアクセスできるよう工夫されている。</p>	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>NEW CROWN English Series</p>	<p>15</p> <p>三省堂</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元は「とびら」「Part」「Side Story」「Small Talk Plus」「Goal Activity」で構成されている。「Goal Activity」に向けて段階的に学びを積み重ね、習得した技能を統合して年3回の「Project」で総合的な英語力が習得できるよう工夫されている。 ○「Take Action」では、「Talk」「Listen」「Read」の三つの領域があり、実際の場面や状況に応じた即興のやり取りや、会話を継続する活動、必要な情報をつかむ活動、情報を整理して概要や要点を捉える活動が組み込まれている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の「Part」では、意見・説明・物語文で構成された「Scene」で情報を整理し、「Goal Activity」では、目的や場面、状況に応じた自己表現活動につなげるよう構成されている。また、「Project」では、単元の既習事項を活用し、4技能を統合した活動を通して、思考力、判断力、表現力を高めるよう構成されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Goal Activity」に向かうまでに、目的や場面、状況に応じた表現を学び、伝える内容を考え、使える語句や表現を身に付け、適切な文章で書くことができるなど、4技能がバランスよく身に付くよう構成されている。教科書の題材に関連した動画を「Lesson」ごとに設け、異文化に対する理解や学びを深めるよう工夫されている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の最初のページの「Lesson Preview」や「Small Talk」では、身近なことについて、伝え合う場面が設けられている。単元末の「Goal Activity」では構成や話し方を工夫して取り組むことができるよう配慮されている。 ○「Talk」では特有の表現を使ってやり取りし、「Listen」では、概要や要点を聞き取り、「Read」では必要な情報を読み取ることができ、巻末資料の中に各活動の充実を図るためのロールプレイシートやスクリプトがある。 ○言語活動において必要な語彙が「Word Bank」「Tips!」等に取り上げられている。新出語句を扱う「New Words」において、発信語彙が太字で表記されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭には、この教科書の「しくみと学び方」が示されており、1年間の学習の見通しが立てられるよう工夫されている。巻末には、「会話表現」が掲載され、会話に有効な表現が紹介されている。 ○単元ごとにQRコードが掲載され、単語や本文の音声、アニメーションをスマートフォンなどで再生ができるよう工夫されている。 	
<p>表記 ・ 表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生全編を通して手書き文字に近い独自のフォント、2年生以降は活字体を使用している。1年生は、アクセントは各単語に黒色で付記し、発音記号は巻末に青字で掲載している。2、3年生はアクセント、発音記号を併記している。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「Project」を軸として、言葉を使って表現・理解を深めて伝え合い、多様な学び方を通じた考える力の育成に重点を置いている。国際社会に対応できる資質・能力と豊かな人間性を育てようとする内容となっている。 ○学習者用デジタル教科書では、白黒反転、総ルビ表示など特別支援教育の視点で配慮され、フリーハンドペンやふせんなど紙の教科書と同様に学べるよう工夫されている。 	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">ONE WORLD English Course</p>	<p style="text-align: center;">17</p> <p style="text-align: center;">教 出</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <p>○各単元は「扉」「Part」「Task」「Grammar」で構成されている。「Grammar」ページの「How to Use」で、文法の解説と整理、対話練習が設定されている。学期末の「Project」では、これまで学んできた知識・技能を活用できるよう工夫されている。</p> <p>○「Tips」では4技能の技能を高めるためのコツを扱い、各技能の本質に関わるアドバイスが提示されている。「Useful Expressions」では日常的な場面を設定し、「生きて使える英語」に直結する表現を学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○単元の「Part」で言語材料を習得し、「Think & Try!」と「Read & Try!」を読んで理解を深め、「Task」で自己表現活動につなげるよう構成されている。また、「Project」では、単元の既習事項を活用し、4技能を統合した活動を通して、思考力、判断力、表現力を高めるよう構成されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○単元末に「Task」と「Grammar」を設置して、各単元で学習した内容の確実な定着を促すよう構成されている。「Project」では、学んだ知識や表現を生かし4技能を統合的に活用し課題解決に取り組めるよう構成されている。生徒がアクセスできる「まなびリンク」では、生徒の多様な興味や学びを促すよう工夫されている。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○「生きて英語」の習得に向けて、「即興的なやり取り」を伸ばす「Activity Plus」や4技能の力を高めるためのコツ「Tips」が扱われている。また、「Useful Expressions」の活動で日常的な場面設定での表現を学習できるよう工夫されている。</p> <p>○「Think & Try!」では、内容理解を深めた本文を利用してやり取りの練習ができるようになっている。また「Task」では、話したり、書いたりする活動を通じて、自分の考えなどを発表し、クラスメイトと共有する活動ができるよう工夫されている。</p> <p>○言語活動において必要な語彙が「Tool Kit」「Tips」等に取り上げられている。新出語句を扱う「Word & Phrases」において、発信語彙が太字で表記されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○巻頭には1年間の学習の流れが示され、学習の見通しが立てられるよう工夫されている。巻末には、学習到達目標を自分で確認することができるよう「Can-Do 自己チェックリスト」が掲載されている。</p> <p>○単元ごとにQRコードが掲載され、本文や単語の音声をスマートフォンなどで再生ができるよう工夫されている。</p>	
<p>表記 ・ 表現</p>	<p>○1年生前半は独自の手書き風書体、後半はブロック体を使用している。2年生以降はローマン体を使用している。1年生は、アクセントは各単語に付記し、発音記号は巻末に掲載している。2、3年生はアクセント、発音記号を併記している。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「Project」を軸として、明確な目標を意識しながら主体的に学び、考え、伝え合うことに重点を置いている。学びの力で人と社会を未来へつなぐ力を育み、英語を使って世界で生きていく人材を育くもうとする内容となっている。</p> <p>○学習者用デジタル教科書では、録音・再生機能を設けられており、自分の声を録音して、ネイティブ音声と比較することができるよう工夫されている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">Here We Go! ENGLISH COURSE</p>	<p style="text-align: center;">38 光村</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○各単元は「扉」「Part」「Goal」で構成され、3年間ひと続きのストーリーを中心に学ぶようになっている。また、ラウンドシステムの授業にも対応できるよう構成されている。スパイラルに学習しながら統合的な活動「You Can Do It!」につながられるよう工夫されている。 ○実社会の言語使用場面で役立つ力を身に付ける「Daily Life」では、領域統合型の活動も設定されている。また、自分の言葉で表現する力や、実社会で役立つ即興力を継続的に養えるよう、「Let's Talk!」や「Story Retelling」が設定されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○単元の「Part」で目的や場面、状況を捉え、各「Part」を読んで理解を深めた後、情報整理、発表の「Goal」で構成されている。また、「You Can Do It!」では、「Unit」の既習事項を活用し、4技能を統合した活動を通して、思考力、判断力、表現力を高めるよう構成されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○3年間のストーリーを読み進めることで、英語の使用目的や場面を理解し、話題を自分事にし、生徒の主体的な発信につながりやすくするよう構成されている。「Idea Hunt」や「TIP」では、生徒が本文を活用しながら自分なりに表現できるよう工夫されている。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫> ○目的や場面、状況に応じて、英語を聞くことを重視し、各単元では、本文に加え、「Part」や「Goal」にも豊富な聞く活動が設定されている。また、段階的に文字量や扱う文種を増やし、豊かなインプットの機会を確保できるよう配慮されている。 ○各単元で、基本文に関連した即興的なやり取りを練習できる活動が設けられている。「Let's Talk!」では、即興的なやり取りの力を継続的に高め、「You Can Do It!」では、発表活動を通してスピーキング力を育てられるよう工夫されている。 ○言語活動において必要な語彙が「Key Phrases」「Key Words」等に取り上げられている。新出語句を扱う「Words」において、発信語彙が太字で表記されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○巻頭には、教科書の構成と、3年間を通しての到達目標が示され、1年間の学習の見通しが立てられるよう工夫されている。巻末には、「Let's Talk!」が掲載されており場面に応じて会話する力が付けられるよう工夫されている。 ○単元ごとにQRコードが掲載され、本文の音声や単語、アニメーション、実写映像をスマートフォンなどで再生ができるよう工夫されている。</p>	
<p>表記 ・ 表現</p>	<p>○1年生前半は独自の手書き体、後半はブロック体とセリフ体を併用して2年生以降につなげている。1年生では、アクセントは各単語に青色で付記し、発音記号は巻末に掲載している。2、3年生はアクセント、発音記号を青色で併記している。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「You Can Do It!」を軸として、互いの違いを尊重し、他者と協働しながら確かな英語の力を育むことに重点を置いている。ラウンドシステムにも対応し、よりよい未来を切り拓く力を身に付けた自律的学習者を育もうとする内容となっている。 ○学習者用デジタル教科書では、教科書のストーリーを映像化した実写ドラマが用意されているほか、活動の内容に関連したスピーキングテストに取り組めるよう工夫されている。</p>	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>BLUE SKY English Course</p>	<p>6 1</p> <p>啓林館</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元は「とびら」「Part」「Read / Listen & Think」「Think & Speak / Write」で構成され、各学期末には技能統合型の言語活動として「Project」が設定されている。ラウンドシステムにも対応しており、スパイラルに学べるよう工夫されている。 ○各技能領域に特化した活動の「Let's」シリーズでは、各技能領域の力を実生活に即し場面や状況設定で学習できるよう工夫されている。また、各「Part」の「Enjoy Chatting」では即興で話し、伝え合う力を育成できるよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の「Part」で目的や場面、状況を捉え、「Read / Listen & Think」でテーマに沿った英文を読んだり聞いたりして自分の考えをもち、「Express Yourself」で自己表現する機会が設けられている。また、「Project」では、単元の既習事項を活用し、4技能を統合した活動を通して、思考力、判断力、表現力を高めるよう構成されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元で4技能の課題に取り組むことを通して、基礎・基本が定着しやすく、技能統合型の言語活動「Project」に取り組みやすくするよう構成されている。「Notes」などの解説を充実させ、生徒の興味・関心や異文化理解を深めることができるよう工夫されている。デジタルコンテンツを活用し、自律的な学習を促すよう工夫されている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の最初のページの「とびら」では Input と Output のそれぞれの目標を「Unit Goal」に示している。次の各「Part」では知識・技能の定着を図り、最終的に自分の意見を表現する活動につなげられるよう工夫されている。 ○各単元の「Express Yourself」では、ここまでの言語活動を踏まえて、自分の感想や考えを表現する力が身に付くよう工夫されている。また、「Unit」の4技能の活動でメモを基に発表したり、まとまりのある文章を書いたりできるようになっている。 ○言語活動において必要な語彙が「Tool Box」に取り上げられている。新出語句を扱う「Words」において、発信語彙が太字で表記されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭には、教科書の使い方が示されており、1年間の学習の進め方が分かるよう工夫されている。巻末には「CAN-DO List」が掲載されており、学習の達成度を自己評価できるよう工夫されている。 ○単元ごとにQRコードが掲載され、単語や本文の音声、アニメーションなどがスマートフォンなどで再生ができるよう工夫されている。 	
<p>表記 ・ 表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生はUDフォント、2年生以降は Century Schoolbookを使用している。1年生はアクセントを各単語に青色で付記し、発音記号は巻末に掲載している。2、3年生はアクセントと発音記号を併記している。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「Project」を軸として、スパイラルな学びを通して定着した力を活用して即興力を養い、自分の考えを表現することに重点を置いている。ラウンドシステムにも対応し、持続可能な社会の担い手となるための資質・能力を育もうとする内容となっている。 ○学習者用デジタル教科書では、白黒反転や読み上げ機能など、学習支援機能が搭載されているほか、音声や動画の速度変更機能で各自のペースで学習が進められるよう工夫されている。 	

外国語科（英語） 調査資料 2

○分量について

内容	学年	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	1年	170	182	188	182	194	166
	2年	158	166	172	182	194	170
	3年	158	166	172	182	194	154
2 新出総単語数	1年	993	997	1030	1194	1268	1130
	2年	589	663	860	975	671	801
	3年	717	577	933	1024	634	644
	合計	2299	2237	2823	3193	2573	2575

○領域別教材数等（言語活動）について

※ 2は3の合計 3③は言語活動と本文を合わせた教材数

内容	学年	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館	
1 単元数 (Lesson, Program, Unit等)	1年	27	31	26	33	28	26	
	2年	21	27	25	36	29	26	
	3年	19	25	25	34	21	19	
2 総教材数	1年	156	195	179	189	189	240	
	2年	162	186	160	196	186	249	
	3年	142	180	150	156	168	197	
3 領域別教材数	① 主に聞くこと	1年	38	64	61	73	71	86
		2年	31	62	58	72	68	79
		3年	29	54	58	55	55	62
	② 主に読むこと	1年	43	39	37	48	32	24
		2年	65	41	38	57	37	49
		3年	55	38	32	46	39	40
	③ 主に話すこと【やり取り】	1年	31	15	33	38	39	59
		2年	31	10	19	32	42	45
		3年	22	22	20	20	29	35
	④ 主に話すこと【発表】	1年	8	38	15	14	19	14
		2年	17	35	14	18	10	16
		3年	19	28	11	22	16	14
	⑤ 主に書くこと	1年	36	39	33	16	28	57
		2年	18	38	31	17	29	60
		3年	17	38	29	13	29	46

○文種別教材数（本文）について

内容	学年	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館
1 物語・詩	1年	1	1	3	3	1	1
	2年	4	1	2	2	1	2
	3年	0	1	1	2	1	1
2 説明文・意見文・感想文	1年	8	6	10	4	4	10
	2年	10	8	18	10	4	17
	3年	10	17	7	7	6	12
3 対話文・スキット	1年	23	34	18	25	27	28
	2年	12	28	18	22	24	17
	3年	9	16	18	16	15	11
4 その他 (伝言・手紙・メール文を含む)	1年	6	4	15	8	10	4
	2年	18	14	11	13	16	12
	3年	21	12	13	15	18	12

○その他

内容	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館
1 世界の人々や日本人の日常生活や風俗習慣に関する題材	①ニュージールランドの学校生活、ハワイでの生活、世界の年末年始 ②シンガポールへの旅行、日本と外国の食文化、アメリカへのホームステイ、ユニバーサルデザイン ③日本のポップカルチャー、防災、国際協力	①日本の食文化、バジャマデー、世界の果ての通学路、世界の年末年始、フィンランドでの生活 ②世界の屋台 ③日本の弁当文化、睡眠、パラスポーツ、手話、ロボット開発、イグノーベル賞	①イギリスでの生活、アメリカの学校生活、中華街、標識・記号・バスケットボール、防災 ②ビーターラビット、中国の文化、シンガポールの姉妹校 ③インド映画、公平、行動心理、インドの言語	①オーストラリアの学校生活、中華街、標識・記号・ピクトグラム、北海道の自然 ②しまなみ海道、松山市、補助犬、ユニバーサルデザイン、サンタ・ラン、ジェスチャー、手話 ③バンクーバーでの生活、ドギーバッグ	①アメリカの学校生活、世界の屋台、日本の年末年始 ②防災、盲導犬、ボランティア活動 ③京都への修学旅行、AIテクノロジー、ロボット開発、アフリカの女性教育、ノルウェーの選挙	①カナダでの生活、ニューヨークの年末年始 ②防災、食の多様性 ③だまし絵、動物との共存、ユニバーサルデザイン
2 世界や日本の伝統文化に関する題材	①外国人落語家、落語 ③風呂敷	①日本食	①将棋、神社、漫画・アニメ、着物、茶道、旅館、そば、和太鼓、昔話 ②書道、折り紙、落語、中国茶 ③漫画とアニメ	①中華料理 ②俳句、ハロウィーン、お盆、鎌倉の大仏、日本の城、落語、風呂敷、餅、こたつ、将棋、獅子舞、富士山、日本料理 ③和食	①日本の夏祭り ②絵文字、かるた、食品サンプル、アイヌ文化	①和菓子 ②青森ねぶた祭、台湾の平溪天燈説、ペルーのインティ・ライミ、長岡まつり大花火大会、たい焼き、花見
3 世界の地理や歴史に関する題材(平和に関する学習を含む)	①イギリス、世界の諸問題 ②時計の歴史、世界遺産 ③原爆、ガンディー	①オーストラリア ②アフリカ甲子園、日本とトルコの友好、原爆、佐々木禎子 ③バスケットボール、チョコレート の歴史、マララ・ユスフザイ、中村哲	②オーストラリア、シンガポール ③原爆、佐々木禎子、マーサー・キング・ジュニア、飢餓	②グラント・キャニオン、アンテロープ・キャニオン ③中村哲、原爆、人種差別、児童労働	②シンガポール ③南アフリカ、広島平和記念公園、原爆、杉原千畝、人種差別	①ハワイ、ロンドン ②シンガポール、世界遺産 ③原爆、佐々木禎子、モザンビークの貧困問題
4 自然科学に関する題材	①世界の水問題 ②アラスカの問題 環境問題 ③エシカルファッション、絶滅危惧種、エネルギー問題	②バンフ国立公園、生物をヒントにした技術、動物の生態 ③野生動物の命、海のごみ問題	②世界の水問題 ③環境問題、自然から学ぶ	①SDGs ②環境問題、地球温暖化、再生可能エネルギー ③野生動物の命、宇宙のごみ問題	③絶滅危惧種、環境問題、SDGs	①海洋ゴミ問題 ③動物保護、気候変動、地球温暖化
5 最長読み物教材総単語数()は付録読み物	①239 ②397 ③556	①247 ②326 ③376 (1384)	①190 (217) ②304 (355) ③488 (299)	①217 (235) ②516 (541) ③488 (605)	①112 (154) ②377 (325) ③516 (466)	①332 ②540 ③930
6 スピーチの取扱い	①6 ②6 ③4	①6 ②11 ③11	①9 ②8 ③8	①12 ②8 ③6	①7 ②8 ③4	①5 ②6 ③10
7 文法事項の説明に関するページ数	①11 ②7 ③6	①10 ②8 ③8	①10 ②10 ③10	①15 ②10 ③6	①7 ②8 ③5	①13 ②11 ③6
8 QRコードの数	①88 ②86 ③78	①78 ②71 ③67	①86 ②81 ③74	①69 ②76 ③62	①83 ②79 ③72	①72 ②70 ③51

※①は1年生、②は2年生、③は3年生を表している。